

揺らぐ北東アジアの平和

～ 日韓亀裂の波紋 ～

韓国人元徴用工問題に端を発した日韓両国の対立激化は、韓国によるGSOMIA（軍事情報包括保護協定）の破棄通告など日韓の安保協力、さらには北東アジア全体の平和と安定に暗い影を落としています。拡大が続く中国の海洋進出や、米露の中距離核戦力（INF）全廃条約の失効を受けたアジア太平洋地域へのミサイル配備の動きなどもあり、潜在的な衝突のリスクも増大しているように見えます。揺らぐ地域の平和を維持するために、日本はどのような戦略と発想でこの難局に対処すべきか、外交・安全保障のエキスパートたちが多角的に議論します。

日時

2019. 11. 5 (火) 14:00-17:00 (開場 13:30)

入場
無料

会場

日本プレスセンタービル 10階ホール
東京メトロ霞ヶ関駅 C3 出口より 徒歩2分

定員

200名 ※事前登録制

参加登録
こちらから



安全保障シンポジウム

<http://anpo.netj.or.jp/>

◆ プログラム

- 14:00 **基調講演** 佐々江 賢一郎 日本国際問題研究所理事長・前駐米大使
- 14:40 **基調講演** 河野 克俊 防衛省 前統合幕僚長
- 15:25 休憩 ※質問票を回収します
- 15:45 **パネルディスカッション**
- パネリスト
- 菌浦 健太郎 自民党総裁外交特別補佐
- 磯部 晃一 元陸上自衛隊東部方面總監（陸将）
- 村井 友秀 東京国際大学国際戦略研究所教授
- モデレーター
- 勝股 秀通 日本大学 教授
- 17:00 閉会



主催 : NPO 法人ネットジャーナリスト協会

後援 : 読売新聞東京本社

◆ 基調講演

佐々江 賢一郎 日本国際問題研究所理事長 前駐米大使



岡山県出身。東京大法学部卒。
1974年 外務省入省。務省入省。北米第二課長、
北東アジア課長、内閣総理大臣秘書官、総合外交
政策局審議官、経済局長、アジア大洋州局長、外務
審議官、外務事務次官、駐米大使などを歴任。
2018年6月より現職。
多くの対外経済交渉を手掛け、また「六者協議」の
日本代表、G8サミットの政務局長を務めるなど、
外交官として豊富で幅広い経験を持つ。

河野 克俊 防衛省 前統合幕僚長



1954年 神奈川県生まれ。防衛大学校卒。
1978年に海上自衛隊に入隊。
護衛艦「おおよど」艦長、第3護衛隊群司令、海幕
防衛部長など歴任。この間、米海軍大学に入校、
筑波大大学院で修士(国際関係論)を取得。
自衛艦隊司令官、海上幕僚長を経て、
2014年10月から自衛隊最高位の統合幕僚長。
2019年4月に退官。

◆ パネリスト



藺浦 健太郎 自民党総裁外交特別補佐

1972年 香川県生まれ。東京大法学部卒。
1996年 読売新聞入社。政治部などに所属したのち
退職し、麻生太郎副総理の政策秘書を務める。
2005年 衆議院議員に初当選。
外務副大臣などを歴任し、2017年8月より現職。
当選4回。



磯部 晃一 元陸上自衛隊東部方面總監 元陸将

1958年 徳島県生まれ。防衛大学校卒。
陸上自衛隊入隊後、ヘリコプターパイロットとして
勤務、第9飛行隊長、陸幕防衛課長、統幕防衛計画
部長など歴任。東日本大震災時の「トモダチ作戦」
に従事し、東部方面總監を最後に2015年8月退官。
この間、米国防大学などで軍事学修士などを取得。
退官後はハーバード大学アジアセンター上席研究員
に就任。著書は「トモダチ作戦の最前線」など。



村井 友秀 東京国際大学 国際戦略研究所教授

1949年 奈良県生まれ。東京大学国際関係論
博士課程修了。米ワシントン大学国際問題研究所
研究員、防衛大学校教授、同大学校総合情報
図書館長などを経て2015年から現職。
現在は防衛大学校名誉教授のほか、日本防衛学会
会長として、防衛省新防衛政策懇談会の委員に
就任。主な共著書は「失敗の本質」「戦略の本質」
「中国をめぐる安全保障」など。

◆ モデレーター



勝股 秀通 日本大学 危機管理学部 教授

1958年 千葉県生まれ。青山学院大卒。
1983年 読売新聞入社。1993年から防衛問題
を担当。1999年 防衛大学校総合安全保障研究
科(民間人1期生)修了。
編集委員、解説部長等を歴任。
2016年4月から現職。

◆ 総合司会



川戸 恵子 TBS テレビ シニアコメンテーター

兵庫県出身。お茶の水女子大卒。
TBS入社後、政治部担当部長、解説委員、選挙担当
として長年政界を取材。
また、自衛隊倫理審査会長、内閣府・消費者委員会
委員などを歴任。
現在、日本記者クラブ企画委員。選挙学会理事。

関連サイトご案内



安全保障用語

絶対を知っておくべき平和と安全のための基礎知識

国民の多くが安全保障に関する具体的な基礎知識を常識として持つ。そうなるこそ、主義主張に基づく議論も建設的になるし、人々の安全保障もよりよく確保され平和が維持されると思います。そのような基礎知識を得ていただくために、私たちはこのサイトを作りました。

監修：田中 明彦 (政策研究大学院大学 学長)



安全保障用語

<http://dictionary.channelj.co.jp/>

◆ 会場案内

日本プレスセンタービル

10階ホール (東京都千代田区内幸町 2-2-1)

東京メトロ 霞ヶ関駅 C3 出口より徒歩 2分

虎ノ門駅 9・10 出口より徒歩 7分

都営地下鉄 内幸町駅 A6・7 出口より徒歩 2分

JR 新橋駅 日比谷口から徒歩 10分

※日本プレスセンターには専用駐車場はありません。



◆ 会場でのお願い

- ・ 座席は一部を除き、自由席です。なるべく前方へ詰めておかけください。
- ・ 携帯電話は電源をお切りになるかマナーモードに設定の上、通話をご遠慮下さい。
- ・ 報道関係者以外の会場内での録音・録画写真撮影等は禁止です。
- ・ このシンポジウムは、インターネットによる生中継を行い、その後オンデマンド配信を行います。 <http://anpo.netj.or.jp/>